

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 219 号 2016. 7. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 自然農法稲作 熱く学べ 埼玉県 北條昭光

昨年、夏の 1 ヶ月間休暇を取り、木島平にある堀さんの田んぼの除草に行きました。きっかけは、一昨年の 10 月に友人と稲刈りのお手伝いに行ったことです。その日は雨のため、作業が何もできませんでした。そして、堀さんが色々話をしてくれました。長野県の木島平へ移住したころの話、田んぼの話などです。その中で、夏の草取りが一番大変と聞きました。この言葉を聞いたとき、その場で、「来年、草取りに来ます」と伝えたいと思います。

ただ、夏まで 8 ヶ月あり、色々と考えました。田んぼに入ったこと、草取りをしたことのない人間が役に立てるのか、外仕事をしたこともないのに、夏の暑さに体がもつのかということ。でも自分で言い出したことなので、守ろうと思い、木島平へ行きました。

作業初日に草取りの仕方を教わり、一緒に草取りをしました。堀さんのスピードは僕の 10 倍以上です。少しでも追いつけるようにと、草を残さず取ること、スピードを意識して作業しました。そして気付いたことですが、堀さんの田んぼには生物がいます。カエル、アメンボ、水カマキリなどです。秋に近づくと、赤とんぼ、イナゴが現われます。除草剤を使う田んぼには、生物は存在しないように思えます。静かで、シーンとしています。堀さんの田んぼでは、カエルが気持ち良さそうに泳いでいます。生物は、住める場所、住めない場所を判断できるのだと、すごいなと思いました。

6 月の作業開始時の稲は、他の慣行農法の田んぼの稲の半分以下の大きさです。1 ヶ月後の作業終了時には大きさは追いつきます。堀さんの稲は濃い緑で、力強いです。肥料を施す稲は黄緑に近い色で、弱々しく感じました。人為肥料を施すため、土本来の栄養を吸収しにくいと教わりました。

この 1 ヶ月間、貴重な体験をすることができました。毎日、規則正しい時間に起き、多収穫を祈り、岡田茂吉師の自然農法の原理を確認し、作業に向かうなど、今までで一番真面目に生活できたと思います。

そして今年は、6 月より毎週、埼玉から片道 4~6 時間かけて木島平に通っています。田植えの準備、田植え、草取り、稲刈りを勉強したいと思ったからです。

ふりかえれば、一昨年の雨がなければ、昨年、今年と、田んぼに行くことにはならなかったです。雨のおかげで、作業ができず、悔しい思いをしましたが、その後の貴重な体験につながっています。

田んぼ、稲のことを何も知らない素人の僕を受け入れてくれた堀さん、本当にありがとうございます。感謝しかありません。今後もよろしくお願いします。

草取りは残り 1~2 週間だと思います。興味ある方、草取りは厳しいけど見学してみたい方、ぜひ来て見てください！



北條さんが特に任されている田んぼ(7月7日)



左から 2 人目が堀さん、3 人目が北條さん  
7月12日、青年がお手伝いに来てくれた

## 生産者と共に ジュース用みかん栽培 市川生産グループ 猪狩和彦

「無施肥無農薬みかんジュース」の販売を始めてから 10 年目になりました。静岡県沼津市西浦にて、農家で地主である土屋さんに生産をお願い、無施肥無農薬栽培に協力していただいております。時の推移と共に、老木が枯れてしまったり、6 年前から鹿による被害も重なり、みかんの収穫量が減ってまいりました。この問題を解決するには、新しい苗木が無事に成木し、実をつけることが



6月9日、苗木に寒冷紗を嚴重にかける  
土屋さん(左)と猪狩さん

2016 年 4 月 27 日、今年も新しい苗木を植えることができました。私たちもお手伝いさせていただき、昨年同様にベースキャンプを施しました。しかし、今後の木の成長を考えると、いつまでも個別にベースキャンプは張れません。畑の周囲にフェンスを張りたいたですが、予算もない状態です。

そんな折、6 月 9 日に定期訪問で伺ってビックリ。畑の周囲に新しいフェンスが張られていました。しかも、土屋さんからは「フェンス代はこちらで持ちますよ」と言っていただきました。このことを通して、私たちも生産者と共に歩いていくことで、こちらの自然農法への思いが相手に届くことを学びました。今後も、自然農法普及に繋がる、みかんの栽培、ジュースの販売に取り組ませていただきます。



## 高熱で弱った身体に みかんジュース 埼玉県 南 和子

今年の 2 月 5 日、38 度 8 分の高熱が出て、3 日目にやっと 37 度 7 分に下がりました。腰が痛く、食欲もなく、自然農法のほうじ茶と煎茶を飲んでいました。たまたま孫のために買っておいた「みかんジュース」があることを思い出しました。以前、娘が「お酒を飲み過ぎた翌日、市販のみかんジュースは戻したけど、自然のみかんジュースは戻さなかった」と言っていたことと、多くの方の、自然米、野菜の力のすごさのお話を思い出し、私も飲んでみようかと思いました。

一口飲んだだけなのに、胃に落ちる間もなく、身体全体にしみとおっていくのが分かりました。乾ききった土に水がサーッとしみ込むように、私の身体に溶け込んでいきました。胃にもとてもやさしく、美味しかったことが忘れられません。

元気なときは、濃厚なジュースとしか思っていなかったのに、高熱で弱った私の身体を優しく包んでくれたみかんジュース、自然農法の食材の持つ力を教えていただきました。



フェンスの様子



## お知らせ

- ★ 自然農法農産展 8月3日(水) 販売 / 8月21日(日) 展示  
食のあふれている今、人を生かす生命力ある食べ物は一体どれほどあるのでしょうか? 「本物を食べる。作る。考える。未来につなげよう! TOREK 自然農法」をスローガンに取り組んでいます。目で見ただけでなく、舌や鼻で、本物の作物を感じてください。(販売予定はチラシをご覧ください)
- ★ 自然農法頒布会 7月27日(水)、8月29日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~  
売り切れ次第終了
- ★ 自然農法勉強会 8月30日(火) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~  
(別院講堂)



販売:8月3日(水)・展示:8月21日(日)  
13:00~15:00 販売は売り切れ次第終了

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>